

# 一般質問

## 市民の声を市政に

議長は職責上（議事整理権）、監査委員は申し合わせにより、一般質問を行っていません。

（文責は、各質問者）

### 一般質問に28人が登壇

ベビーカー等の東西交通のために富士見町地下道にスロープ設置を



井上 英治  
議員

春日部駅付近連続立体交差事業が一向に事業着手できないために、歩行者の東西往来が阻害されています。そのため、駅構内の無料通り抜けや駅橋上化の提案がなされてきましたが、困難です。そこで、三須医院と秋葉神社間にある富士見町地下道の北千住側階段にベビーカーでも楽々と押していけるスロープの設置を提案します。スロープを設置した場合、現在の階段の角度30度を何度にして、スロープ長は西側何メートル、東側は何メートルになるでしょうか。また、工事の際の課題や市内に角度の参考になるスロープはありますか。

#### ○建設部長

現在の階段を緩やかなスロープとする場合の角度は、約7度以下となり、スロープ化した場合の長さは、水平距離で西口側では約22メートル、東口側では約23メートル延長

する必要があるようです。スロープ化へは、3メートル以上の掘削、線路への影響および地下の横断通路との接続など、大規模で難しい工事と想定され、部分的な改良工事では難しく、実現は難しいと考えています。緩やかなスロープの例としては、春日部郵便局交差点にある自転車駐車のスロープが約7度です。

このほか

○本庁舎整備審議会答申について

○春日部市における共催・後援は政治的中立が保たれているのか

#### 国民健康保険医療費抑制について



荒木 洋美  
議員

市民の健康増進と国民健康保険の健全運営に向けた医療費の適正化が、喫緊の課題となっています。そこで、国民健康保険の医療費抑制の面から3点提案します。

①ICT（情報通信技術）を用いたレセプトデータ（診療報酬明細書）を活用し、糖尿

病重症化防止への取り組み。  
②ジェネリック医薬品と先発医薬品の医療費を比較した通知の送付。

③「ジェネリック医薬品を希望します」というあらかじめ保険証に貼れるシールの作成  
以上3点ですが、市の考えを伺います。

#### ○健康保険部長

①レセプトデータを活用して糖尿病等をはじめとする生活習慣病予防対策を推進することとは有効な施策の一つであると認識し、平成27年度から具体的な検討を進めていきます。

②ジェネリック医薬品は、1人当たりの削減効果があるものの、先発医薬品とは適応症や使用感が異なることや、安定供給の確保や情報提供体制が脆弱であるなどの課題があることから、当面は保険証更新時に配布しているジェネリック医薬品希望カードによる普及促進を行ってまいります。  
③ジェネリック医薬品希望シールは、保険証と別に持ち歩く必要がなく医療機関に提示できるため、他市の効果等を検証し見極めていきます。

#### このほか

○地方創生に向けた我がまちの取り組み

**地元農家と連携し  
給食食材の地産地消  
向上の取り組みを**



大野とし子  
議員

本市は、農業生産者の周りに消費者が住んでいる強みを生かして、都市農業として振興できる地域です。トマト、ナス、キュウリなどを多くの農家が出荷しています。耕作面積は県下9番目の広さです。しかし、本市の平成27年度農林水産業費は2億4787万1000円で、構成比0.3パーセントです。農業施策の充実が求められます。

また、本市において給食食材が地元野菜である地産地消率は0.9パーセントです。草加市では、産業振興課が中心となって給食食材を提供してくれる農家を「食育応援農家」として募集し、年に2回産業振興課、学校栄養士、地元農家が交流し、地産地消率の向上に取り組んでいます。

本市でも農政課が中心となって、地元農家と連携し、給食食材の地産地消率向上に向けた取り組みを施策として行

うことを提案しますが、市の考えを伺います。

○環境経済部長

本市においても農業者との連携は、既に実施しているところであり、農業振興の一環として学校給食における市内の農産物の活用についても、生産者と学校給食関係機関をはじめとした消費者側との意見交換や調整により連携を図っているところです。

このほか

- 国道4号バイパス、広域農道交差点の農道に右折帯を
- 高齢者福祉避難所設置の早期拡充を



埼玉県学校給食牛乳協議会会長賞受賞の学校給食

**市長の平成27年度  
施政方針について**



会田 幸一  
議員

市長は、今定例会の冒頭に市政運営の基本的考え方である施政方針を述べました。その中で、重要と思うことを大きな視点で重点的に伺います。

- ①公共施設の老朽化対策として公共施設マネジメントに取り組み考え方について、②国が示す地方創生の方向性や考え方と、それに対する市の取り組みについて、③施政方針に込めた市長の取り組みの考え方について。

○総合政策部長

①今後、人口減少とそれに伴う財政規模の縮小が予測される中、現行の公共施設全てを維持することは難しいと想定されます。平成27年度から概ね2年をかけて、地域の声も反映させ、公共施設マネジメント計画を策定します。②国が示す地方創生については、地方での若者雇用創出数など、2020年までに30万人とするなど、成果指標が設定され

ています。

市では、平成27年度中に、本市に即した春日部版人口ビジョンと総合戦略を策定したいと考えています。

○市長

③市民と一緒に新市施行10周年の記念事業を展開し、それを一つの契機として、より一層地域の一体化を強固なものにしていきます。また、本市の課題には、今後も引き続きスピード感を持って、効果的な対策を図っていきます。

このほか

○育児に悩む母親に対する行政サポートについて

**春日部駅の「橋上化」で  
利便性の向上と  
商業の活性化を**



松本 浩一  
議員

2005年の「春日部駅連続立体交差事業」の着工準備採択から今年で10年になり、市が目標としている「都市計画決定」の2017年度まであと2年となっています。

しかし、いまだに実現の見通しが不透明な状況です。このままでは、特に車椅子、

ベビーカー、高齢者などの皆さんが自由に通行できない状況が、今後も長年にわたって続くこととなります。

そればかりか、周辺地域の商業などにもマイナスの影響を与え続けており、一刻も早い解決が必要です。

岩槻駅や幸手駅は「橋上化」を進めています。「鉄道高架化」事業は、少子高齢化で人口が減少していく中で多額の借金を子や孫の代まで背負うこととなります。

また、老朽化した公共施設の改修などにも必要な中で、今後、550億円もの多額の費用と長い期間がかかる鉄道高架事業は見直し、春日部駅の「橋上化」を検討すべきと考えますが、市長の考えを伺います。

○市長

これまで通り、春日部駅付近連続立体交差事業の早期着手、早期完成に不転の決意を持って取り組んでいきます。この考えは、いささかも揺らぐものではありません。

このほか

○小渕中島ちびっ子広場廃止に伴って新公園の設置を

○教科書採択は現場教師の意見を尊重して公正・民主的に

## 公園づくりと 維持管理について



山崎 進  
議員

公園は市民の憩いの場や災害時の避難場所として、また、コミュニケーションや健康づくりの推進の場など、生活には欠かせない機能を持った重要な施設です。

現在、大枝公園の整備事業が進んでおり、今後も公園の新設、リニューアルが計画されている中、こうした事業の経費削減策の一つとして、以前から提案している、ベンチや遊具などの備品を民間から寄附していただくことが可能なか伺います。

また、今後の公園の維持管理について、どのように取り組んでいくのか伺います。

### ○建設部長

平成27年度から行う「公園育みサポート事業」は、公園のベンチや遊具などについて、市民、団体および企業から寄附を募り、いただいた物件に記念プレートを取り付け、公園施設として設置する事業で

す。平成27年度は、4月から7月までの期間を設定し、募集をしていく予定です。

今後の公園の維持管理については、公園の除草や清掃などを地元自治会や団体に協力をお願いする美化協定の助成金の額を改定し、制度の拡充を図っていきたいと考えています。

また、緑化推進として、小学生によるコスモスの種まきや花の摘み取り、苗木や種の配布などの取り組みを積極的に行い、市民と行政の協働による維持管理に努めていきます。

## スマートフォン向け ホームページの 充実について



栗原 信司  
議員

スマートフォン向けホームページの構築については、平成23年12月議会をはじめ、事あるごとに市民の声として伝えてきました。スマートフォンは画面を引き延ばすことができることから、これまでにスマートフォン向けのトップページのみを作っていた

ましたが、ホームページ全体の構築には至っていません。

そのため、詳細な情報を得るための画面は、通常のパソコン用の画面となってしまう、どうしても使い勝手が悪いものになっていきます。

さて、そのスマートフォン保有率は、既に60パーセントを超えたと伺うところです。

そこで、改めてスマートフォン向けホームページ構築について、市の考えを伺います。

### ○総合政策部長

スマートフォンやタブレット端末を含む携帯電話等での市公式ホームページの閲覧については、平成25年1月末時点で約27パーセントだったものが、平成27年1月末時点では約47パーセントと、2年間で急激に増加しています。

市公式ホームページのスマートフォン対応については、年々利用者が増加している現状を踏まえると、できるだけ早急な検討が必要と考えています。

### このほか

○減災プロジェクトの導入について

○市民健康づくり推進条例の制定について

○住居表示について

## 豊春地域における 道路冠水対策について



坂巻 勝則  
議員

豊春地域にあるマンション付近とその周辺は、少し強い雨が降り続けると、道路や駐車場が冠水し、市民生活に多大な困難をもたらしています。

この地域は、近年の開発により貯水機能を有していた水田が、次々と駐車場やマンション等に代わり、台風やゲリラ豪雨により冠水被害が発生しやすくなってしまいました。

冠水を起す道路はバス路線や立野小学校への通学路にも指定されており、通勤や通学に支障をきたしています。

また、冠水で下水道が流れにくくなり、トイレが使えなくなる被害も出ています。

「一刻も早く冠水対策をとる」の住民要求を受け、「増富東地区」では今年1月28日に816筆の署名を添えて「道路冠水被害解消に関する要望書」を提出するに至りました。根本的な冠水対策には「新方川」の河川改修が不可欠で

あることは分かります。しかし、台風の時期などには度々冠水被害を受けてしまい、本当に困っています。根本的な対策はもとより、応急的な対策を早急に実施していただけないでしょうか。

### ○市長

あらゆる事業を通じ浸水被害の軽減に取り組んでいます。また、国や県に対して、今後早期改修に向けた要望をするとともに、冠水被害の軽減を図っていきます。

### このほか

○豊春・一ノ割地域に児童館の設置を



豊春地域のマンション付近